日本プロレタリア音楽家同盟東京支部

組紜部ニュース

第一号

1932.7.28.
市外上戸塚 743
日本プロレタリア
音楽家同盟

組紜活動の新方針を八・一カンパに如何に的応し、実践しつゝあるか

東京支部組紜活動に於て、吾々は八・一ゴール目標に、革命競争諸項目を設定した。

一、新同盟員の獲得。
一、サークルメンバー技術者獲得。
一、地区組紜確立の方向としての地区オルグ会議強化
一、音新読者網の確立
一、全同盟員の組紜活動への参加
一、重要産業（金属、化学、電気、交通等）大工場への喰ひ込み

以上の諸項目に対しての数的部分は言はない。基本的方針に対し、吾々の実践化が如何なる程度になされ、東京支部の打ち建てた方針が正しかったかどうかを検討して見よう。

以上の中で最も問題を含んで居る地区オルグ会議（サークル代表者会議）式は世話役会ギ（同盟員の組紜的歴所について）を如何に理解し実践したかの問題を中心に進めよう。

吾々は同盟第二回全国大会を目指して同盟全機関を挙げて大会の成功的開催を革命競争の一環として斗ふ事、各機関が統一的に、一組紜活動の強化、二創作活動の強化の二点に集中的に精力が向けられ、特に東京支部の持てるサークルの拡大強化、組紜活動の面に於ける労働者のイニシアチーブ確保の組紜的解決として地区オルグ会議、地区同盟員全体会議を提唱し、コップの組紜活動の指令に基いて、この中心点である重要産業大工場への働きかけを同盟の現有勢力の主観的力を考慮して、この実践を各地区オルグ会議に指令したが不充分にしか活動は進展していない。東京支部組紜活動に対する全般的批判として吾々は「無計画無方針」と言はざるを得ない。一層具体的に言ふならば、個々のサークルに就いて各々のサークルが発展性を多分に持つ状態にありながら質的発展（同盟員獲得、コップ出版物配布、音新読者獲得）、量的発展のテンポは実に微々たるもので組紜部員のメンバーの努力にも関はらず統一的方針が立てられず、特に吾々の教育的面の活動の不充分さ、オルグの教育的面の活動の指導方も亦それらと関連し世話役の活動の活動に対して、サークル内同盟員の活動に対しても方針が支部組紜部によって強力的に指示されず、オルグ会議の任務と意ギに就て一応の理解が、各キャップにされてゐたにも関はらずオルグ会議を充分指導し得なかった点に、組紜部は責任があった。現有四十位のサークルの手掛を持つ組紜部は客観的状勢の進展につれて、特に吾々の活動の集中点を如何なる企業に置くか、小工場サークル、街頭サークルを如何に指導するかの明確な方針を打ち立てるべきことが当面の任務である。

本部支部機関の整理、新部員の決定と大会の討論から引き出された決議所謂現在の客観的社会状勢、戦争とファシズムの深化の真只中に吾々の活動の集中点を重要産業へ！地区組紜強化これらの具体的支部組紜部の方針として各地区に於ける目標工場の決定街頭サークル指導等への具体的方針、地区組紜強化の実践として地区サークルの同盟員の地区機関への引上げ等々新方針実践の第一歩を踏み出してゐる。併しながら支部組紜部として八・一反戦カンパに対して決定的立遅れを示してゐる。僅に教育部で出されたサークルメンバーを対象としての反戦のためのプリント（この事は教育部報告の大会での批判それから引き出された教育部の方針の実践化の一歩前進である）立遅れの克服の為支部組紜部は地区オルグ会議、サークル世話役会議を持ちそこで下からの対策委員会を作ることを大衆自身で決議させる迄にすること、これらを通じて当日のデモへの大衆的動員をサークル内同盟員が先頭に立ってやること、以上の具体的方針を決定した。

★反戦アヂプロ活動をサークル拡大強化に結びつけてやれ！！

（創作活動と組紜活動の密接な関連！）

★重要産業（金属、化学、電気、交通）への組紜活動への実践！

★地区組紜の強化！

地区オルグ会議・サークル世話役会議 当面の任務

地区オルグ会議の任務

- ◉ サークルへの力の整理（組紜方針のてつてい）
  - ・重要産業（現在特に交通に）大企業への力の集中
  - ・他の小工場内サークル、街頭サークルへの力の整理の方法
- ◉ 八・一デモに対する動員
  - ・同盟の方針に依るアヂ・プロ活動の方法
- ◉ サークルに於ける座談会、又他サークルとの合同懇談会の開催等に対する打合せ
- ◉ 行動隊の編成に付いて、

以上大会に依って批判された従来の組紜活動の無計画性を克服し、新らしき方針による組紜活動の一歩前進、及び八・一を目前にひかへてそれへの動員、之等を各地区の具体的状勢に応じて具体化する事こそ地区オルグ会議当面の任務である。

サークル世話役会議の任務

- ◉ 八・一デーに対する態度
  - ・サークル員の可及的多数者をデモへ参加さすべき具体的アヂ・プロ活動の相談
  - ・当日に於ける世話役の態度の打合せ
- ◉ サークルの発展について
  - ・組紜部ニュースを中心とした討論、特にサークルの発展についてしの充分の討論

以上は大体サークル内同盟員が取り上げる事からと一致する。併し現在P、Mのサークル世話役は之等充分取り上げて問題とし得る人達であらう。

八、一に対するアヂ・プロ及び動員は、その各サークルの具体的條件に従ってなされ、之等の機械的適用は絶対になされてはならない。

サークルの指導に付いて

昨年の才一回大会に於て、同盟はその基礎を企業体に打ち立つべく同盟を再組織する新らしき方針を採用した併しながら当時に於ては、未だこの新方針が充分に理解されず為に多くの未解決の問題を残して居た。以来一ヶ年間同盟は、その活動を通じて、又他同盟の経験の精果を摂取しつゝ、それらの問題を実践的に解決しつゝ、今日に至つた。

その間同盟は約五十のサークルを一応結成させた。内現在実質的な会合を持ちつゝあるもの九に過ぎない。しかも現在会合を持ちつゝあるもの、大部分は最近結成を見たものであり、尚之等に於てさへその会合への動員数はせい人次下向線をたどりつゝある。

その最大の原因として、吾々はサークル教育の無方針を挙げなければならない。

以下の文は、未だ完成されたものではない。多くの未解決の問題、説明の不充分さを多く含んでゐるが之を通じて全員のこれへの積極的関心、及びそれを通じての全員のサークル教育へのてつ底的理解を得たい。

先ずサークルの組織について言はう

現在迄吾々の取り来つた方法は、種々の方針で、職場内の（或は街頭の）ハーモニカ、或は歌等の愛好者を発見し（それらの人達が必ずしもそれらを習ふ意志を持つとは限らない）彼等を動かして、ハーモニカ或は歌等を習ふグループを組織させ、之に同盟員を送つて練習させた。即ちこれらのサークルは、ハーモニカ、歌等を習ふ事の希望者であり、単に聞くことの好きな人（勿論習いたい人と聞きたい人とを機械的に分離は出来ないが）を広般に組織出来る方法を取らなかつた。之はサークル組織原則の乂である音楽愛好者を広般に組織する点と矛盾する。

その具体的方法としては、音楽会への計画的組織的動員（この誤から演奏活動の強化が直接問題となる）其の他、座談会の開催、蓄音機の利用職場を中心とした演芸の夕等の計画最高技術者の動員等が考へられる。これらに関しては問題の提出に止どめて進む。微妙組織の問題も急速な解決を要す

次にサークルの自主的目的について、

次にサークルが自主的な組織であることを吾々は知つてゐる。自主的な目的動機なしに自主的な組織をつくる事は出来ないであらう。その目的の為のサークルの自主的活動を通じてのみ初めて全サークル員を同盟の方針に引つぱつて行くことが出来るであらう。

吾々は、「一般に音楽愛好者で広般に組織するしと言ひつゝ、何の目的で集まるかを問題としなかつた。ハーモニカ、歌等を習ふことのみの目的で集める事の誤は前に言つた）では音楽愛好の総ての労働者は如何なる目的を持ち得るか？彼等は音楽を常に楽しむ金がない、時間がない。この事から、音楽を労働者に！労働者にわかる音楽を！彼等に都合の良い時間に！場所に！の共通の目的が生じる。これは労働者である限り、プロ音楽の愛好者も、流行歌の、或はシンホニー愛好者にも共通だ！このモメント利用してサークル組織を行ひ、この目的に従つて自主的活動をなすならば、之等の目的の彼等の経済的要求への発展、文化的けい蒙、それ等を通じて根本的組織の蓄水池としてのサークルの役割をはたし得るだらう。

以上は、音楽を聞く人の立場からのみのべた。同時にその中に音楽をやりたい人達の居る事を見のがしてはならない。ここに労働者の自立音楽の問題がおこる。（即ち現在のサークルの大部分は自主音楽団の萌芽と見なすべきだらう。）これは音楽サークルへ自主的活動をあたへる大きなモメントの一だ。技術は拙なくとも、自分達の職場に於て自分達の仲間に依つて、日常生起する事柄について歌はれるなら（ここに創作活動の強化が強調せられる一彼等に如何にみ力的であらう。（特にストライキ等の場合）この自主音楽団をもり立て、行く事は全サークル員の興味でなければならない。

次に世話役について。世話役はサークル員の種々の世話、特に会合の為の場所日時の決定、それへの動員について責任を持つものであり、全サークル員の希望によつて選出されたものである。従つて一般に信頼ある人、世話を充分見る人等が選出されるだらう。サークル内同盟員は、積極的活動に依つて全サークル員の信頼の下に世話役に選出される様努力すべきである。

最后に通信員の獲得について。

サークル内から通信員の新らしい獲取（通信員の重要性はここでは説べない。）是亦、最大な任務である事を忘れてはならない。

サークル現在数

	産別	城西	城南	城東	城北	中部	合計
交運		三	二	一	三		九
金属		一		三			四
化学			一	二			三
電気			一				一
出版			一				一
通信			二				二
食料						一	一
土建		一	一				二
一般		一					一
街頭		二	一	三	一	一	八
学生		一	一		二		四
ピオネル		二		一			三
合計		一一	一〇	一〇	六	二	三九

市電兄妹達は立ち上がるぞ!。

市電気局の赤字八百万円、いかにしてやつ等は之を切り抜けんとするか？電気局は春以来その為の対策協議会を設けて頭をひねつて来た。結局人件費のさく減以外あり得ない。九月初旬を期して二千名首切、二割減俸を強制するだらう。

幾度かの敗ぼくに次々と労働條件を改悪されて今日に至つた市電の兄妹達はてつ底的斗争に立ち上がるぞ東交のダラ幹達は、今から中央斗争委員会を組織し、各車庫に各々斗争委員会組織の指令を発した。又斗争基金を集め出した。運部を先頭とするファシスト共と共力の下に革命的組合のぶつつぶしの陰謀を進めてゐる。市電の兄妹達は今から斗争を覚悟してゐる。併し過去の経験は、ダラ幹に信頼して立ち上がるには余りに多くの裏切行為を知つてゐる。即ち到る所の車庫に彼等不信認の声が高まりつゝある。

今こそ吾々の影響を確保すべき時期だしかも現在戦争とファシズムの真只中に於て交通産業のストライキが特殊の重要な政治的意義を有する事を注意しなければならない。**主勢力を交運へ。**

市電にサークルを増せ!

市電サークル拡大強化万歳!。